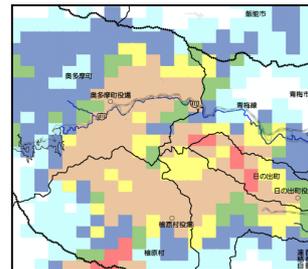
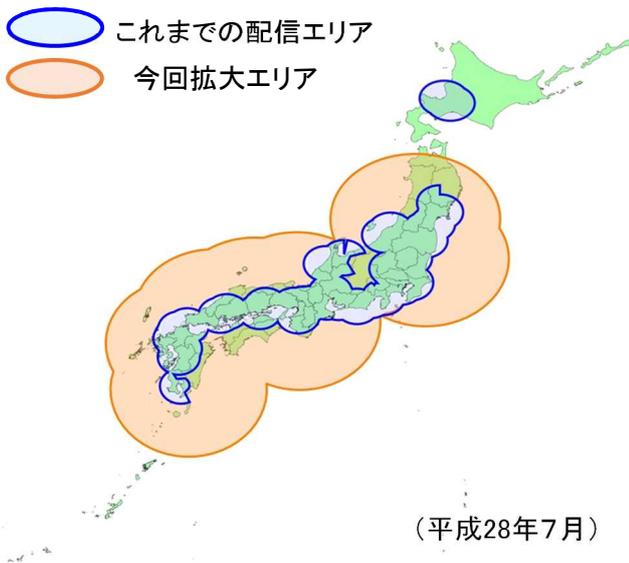


XRAIN 配信エリア拡大!

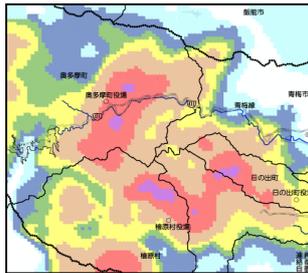
高性能レーダ雨量計ネットワーク (eXtended RAdar Information Network)

平成28年7月より、高精度・高分解能(250mメッシュ)・高頻度(配信間隔1分)で、ほぼリアルタイムのレーダ雨量情報(XRAIN:エックスレイン)の配信エリアを全国※に順次拡大していきます。

近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨による水害や土砂災害等に対して、施設管理や防災活動等に役立てるために、従来のCバンドレーダ雨量計を高性能化し、XバンドMPレーダ雨量計と組み合わせることにより、XRAIN(エックスレイン)の配信エリアを全国※に順次拡大していきます。
※一部島しょ部等除く



【Cバンドレーダ】
分解能: 1km
配信間隔: 5分



【XRAIN】
分解能: 250m
配信間隔: 1分

今回

配信エリアは全国に順次拡大します
※上図のエリア内であっても、山岳遮蔽等により観測できないことがあります。

高精度・高分解能で、ほぼリアルタイムレーダ雨量情報を提供します

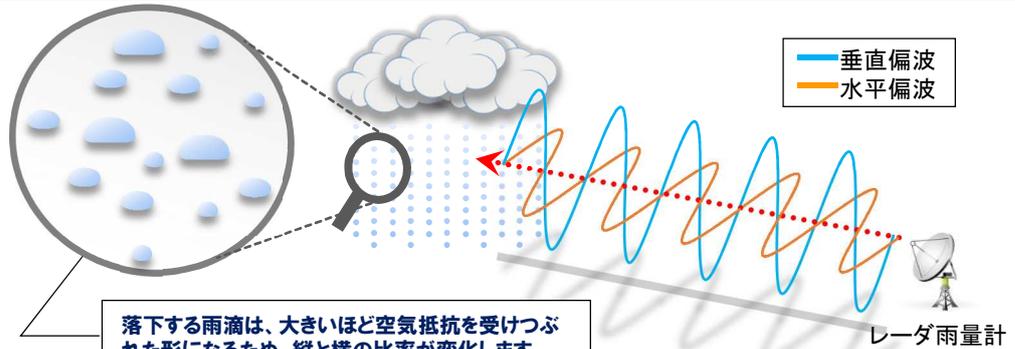
「XRAIN(拡大試行版)」は「川の防災情報(<http://www.river.go.jp/>)」

のトップページの  XRAIN 【拡大試行版】
eXtended RAdar Information Network

をクリックしてください。

配信エリア拡大のためレーダ雨量計の高性能化を進めています

高精度・高分解能・高頻度で、ほぼリアルタイムのレーダ雨量情報の配信エリアを拡大するため、従来のCバンドレーダ雨量計を更新時期にあわせて高性能化を進めています。



落下する雨滴は、大きいほど空気抵抗を受けつづれた形になるため、縦と横の比率が変化します。



〈レーダ雨量計の高性能化とは？〉
従来のCバンドレーダ雨量計に、2種類の偏波(水平・垂直)を送信する機能を追加します。雨粒の形状等を把握し、雨滴の扁平度等から雨量を推定するため、地上雨量計による補正を行わずに、高精度な雨量データをほぼリアルタイムで配信することが可能となります。

XRAIN(拡大試行版) 主な機能

透過設定

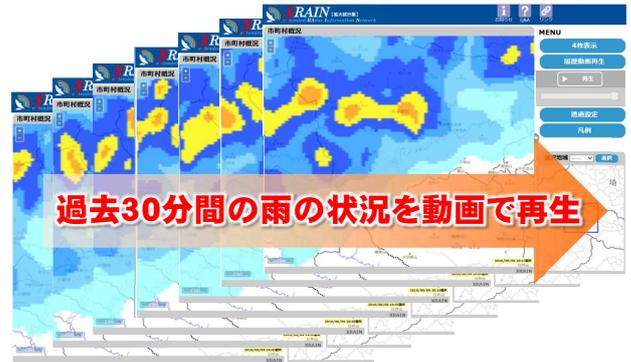


雨域の透過度を変更

20%透過(標準)

80%透過

履歴動画再生



過去30分間の雨の状況を動画で再生

国土交通省レーダ雨量計 性能比較

雨量情報サイト	レーダ雨量計	配信間隔	解像度	配信遅れ	地上雨量計による補正の必要性	カバー範囲
今 XRAIN(拡大試行版)	CバンドMPLレーダ雨量計	1分	250m メッシュ	1~2分	なし	全国(順次拡大)
	XバンドMPLレーダ雨量計					
Cバンドレーダ	Cバンドレーダ雨量計	5分	1km メッシュ	約10分	あり	全国
XRAIN	XバンドMPLレーダ雨量計	1分	250m メッシュ	1~2分	なし	主要都市等

※国土交通省レーダ雨量計の雨量情報は、川の防災情報(<http://www.river.go.jp/>)からご覧になれます。

ご利用にあたって

- 利用者の皆様がこのサイトの情報を用いて行う一切の行為について国土交通省は何らの責任を負うものではありません。
- 英語名称「XRAIN [エックスレイン・X-band polarimetric (multi parameter) RADar Information Networkの略]」は、従来のCバンドレーダ雨量計を高性能化し(CバンドMPLレーダ雨量計)、XバンドMPLレーダ雨量計と組み合わせた高精度な降水強度の観測が可能となったため、一部表記を見直しました。
- レーダ雨量計は上空の雨粒を観測していること等から、地上での雨量の分布と異なることがあります。また、観測性能の向上のため、地上に近い高さで観測を行っており、グランドクラッタと呼ばれる地上の構造物や樹木等の反射が映り込むことがあります。観測範囲外や豪雨によるレーダ電波の消散等により、降雨状況の観測ができなくなることがあり、そのエリアはグレーで表示されます。なお、観測範囲全域において一様な観測精度とはなっていません。
- 機器の試験や精度検証等を目的として、予告なく運用方法の変更、データの配信を中断、停止等の措置をとることがあります。また、機器の保守・点検や予期せぬ障害等により観測ができなくなることがあります。